

第8回能勢町総合計画審議会及び地方創生推進委員会 議事録

【開催日時】 令和3年12月21日（火） 午前10時00分～12時00分

【開催場所】 能勢町役場 本館会議室1

【出席委員】 委員17名中13名出席の下、開催した。※順不同

神吉紀世子、猪井博登、神出計、三浦勝志、尾下忠、奥畑司、田中利明、山本光晴、東亮一、久慈真里、東良勝、榎原友樹、八木修

【欠席】

中西信介、三浦璽子、野津俊明、大城桜子

【事務局】 藤原総務部長、百々総務課長、矢立政策推進係長、株式会社建設技術研究所（業務支援）

【協議事項】

- （1）前回意見の振り返り
- （2）第6次能勢町総合計画（案）について
- （3）今後のスケジュール
- （4）その他

・開会

・会長あいさつ

会 長）今日もお忙しいところご出席いただき感謝申し上げます。この前の委員会で、全体の構成や、今後の予定の報告があった。スケジュールが厳しい中で、前回、皆さんから意見をいただいて、その後、事務局で計画内容を見直していただいた。本日は、そのチェックをさせていただいて、今後のスケジュール等について確認したい。夏場はコロナが猛威を振るっていた際にスケジュールが空いてしまい、しわ寄せがきたので、ご協力をお願いしたい。先に委員より観光協会のお知らせがある。

委 員）能勢の郷に指定管理者制度が導入されると思う。たくさん人が来られることになる。古民家を利用したカフェやレストランなども営業しているので、そのあたりをPRしてはどうか。また、ふるさと納税も積極的に広報したほうが良い。物販、カフェ、レストラン、宿泊などのクーポンを出して、来てもらう仕組みも実施するので掲載してはどうか。

会 長）さっそくご意見をいただいたので、議題に入る。

・議事

- 会 長) みなさんに見ていただいて、ご意見を賜りたい。先に委員より意見を資料にまとめていただいているので説明いただきたい。
- 委 員) 7つのテーマの書き出しから。「答えを求めず」というのは言い訳に見えるので、頭に持ってきてはどうか。7つのテーマは、住民向けと町外向けの両論になりまとまりがないので、概要版は町内と町外で分けても面白いと思った。
- 会 長) 総合計画といっているが、今回、地方創生の内容もあるので、その部分は町外向けにしても良いかもしれない。
- 委 員) どうしても「里山未来都市」は違和感がある。住民にどこまで受け入れられるか難しい。町として生かしたいという思いがあるなら「都市」を別の読み方にするとか、能勢町らしいタイトルが出せないか。以前、「全町公園化」とつけて、あまり評判が良くなかった経緯がある。また、「未来都市」に抵抗がある。外には斬新な訴えをしていくべきである。もし概要版で、町内と町外で内容を分けられるなら精査し、紙面スペースの有効活用もできる。トピックスも同様である。またテーマが重複しているようにも感じる。最初の部分を共有できればこの後の議論もスムーズにいくのではないか。
- 会 長) 10年の間に何が起こるかわからないので、これはフィロソフィ、哲学としてのテーマとした。
- 冒頭の7つのカラーページは、ぴったりくる事が大事だと思っている。見やすいことは大事である。原稿を作っていただいた時に、見出しを1行にするようお願いしている。重複についても考えなくてはならない。
- 確かに7つのテーマは、並べ方によってそれぞれ町内、町外向けにできないだろうか。たとえば、学校の話は内向きもあるが、外向けも大事である。健康、長生きは町外に言った方が良いかもしれない。前回指摘していただいた、新規ビジネスの話も、前に持ってくると印象が変わるかもしれない。
- 委 員) 町民向けには「里山未来都市」は、確かにイメージがわからない。この言葉を最初に見たのは、町長の選挙の時に作られたチラシであった。7つのテーマで、地域ならではのエネルギーの問題が直結してくるかもしれないが、私はどうしても「里山未来都市」のイメージがない。町はどういう考えで、どう使われているのか。
- 会 長) 私は都市計画の分野の人間なので、都市計画的には、「都市」と記載があった方がイメージしやすい。
- 委 員) 私の学部は、都市デザイン学部である。私の授業では、「都市」は人々の生活しているところが都市と定義している。富山湾から立山まで、すべてが都市としている。神吉先生に伺いたいのだが、イギリスでは、田園都市、ガーデンシティとあるように、日本の「都市」

と違っているような気もする。日本の都市だと、大阪などの都市のイメージが強いが、どちらかというと、イギリスの「都市」(Garden city)に近いのでは。

会長)「都市」をサブタイトルに使うのは危険かもしれない。それぞれ捉え方が違うかなとも思う。

委員) 町長が「里山未来都市」のキャッチコピーで選挙をしてきた。委員は町民には抵抗があるとおっしゃっていたが、能勢町は 60 年、自然保護、農業を主体としたまちで、現状がある。今の町長になった時、現状のままでは生活がしにくくなる、今後、このままでは町としての経営が成り立たなくなるので努力していくべきだと考えた。ここで言う「都市」とは、都会化、開発をしようというのではなく、人口の減少する中、賑やかな、生活しやすいまちにしようということである。現状をみて、意識づけとして先の期待感あるまちを引き継いでいくという考えだと思う。今までのように自然保護などを謳っても、住民の感覚は能勢だけが周りから取り残されたような感情があるので、先を見越して、期待を持つようなキーワードとしている。昔から能勢は「大阪の最北端」、「大阪の北海道」等といわれているが、それらの表現はやめようということで、未来に向かって、期待を込めた言葉と思っている。

会長) 政策的な立場からいくと、ベクトルを変えているのを分かりやすくしようということかもしれない。

委員) 第一次総合計画は「農村と都市の一体化した自然都市の建設」がサブタイトルで、第二次は「緑と文化豊かな新しい産業を持つ郷土づくり、田園文化都市」第 3 回は「豊かな緑の文化に根差した新しい産業を持つまち、田園文化都市」、第 4 回は「都市」は出てこないが、「自然とともに生きるホットアンドホットなまち、心安らぐ人が触れ合うみんな躍動する世界に発信するまち」、第 5 回は失念した(「おおさかのてっぺん ふるさと能勢に生きる幸せ」)。バブルまでの話なので、田園都市、自然都市など、どれが良いのか、思いつかないが。

委員)「都市(まち)」という表記は良いと思う。以前、町でやったシンポジウムで、高齢化率 40% 超えていて、それが未来の 40 年後の日本の姿ということであった。「里山未来都市(まち)」というのは良いと思うが、都市という言葉に抵抗があれば、なにか言い方を変えてはどうか。

会長) パブリックコメントで皆さんに意見をもらうこともひとつの手かもしれない。

都市のイメージが、関西は、都市というと大阪、神戸、京都、奈良、和歌山も歴史都市である。昔からのコミュニティがあることが前提で、大阪もそうかもしれないが、関西で都市と聞いて思い浮かぶのは昔ながらのコミュニティ、かつもともと住んでいた人だけでなく、新しく転入した人が自由にのびのびやっているイメージである。東京は、本社機能がある等のメガシティのイメージが強い。それが農地や里山が多いバージョンと捉えれば

どうかと思う。先生がおっしゃったように、「未来」というのが、絵空事を言っているのではなく、今、未来を作ろうという、「未来」に力点があった方が良いのではないか。いかがか。

委員) 今の意見を聞いて、トピックスの健康の箇所で書いたが、生きがいつくりの項目で何か大胆な記載が欲しい。未来都市の前に「里山未来健康都市」と書いた方がわかりやすいが、その代わり高齢化率が 42%になってきている中で、どういう事を訴えるかは議論しなくてはならない。40 年後の未来を先取りするなら大学との協力も打ち出すべきである。

会長) 先程の副町長の話も、ニュアンスについては含まれているように思う。トピックスに関して、06 の「里山の資源と共生する働き場を」が抽象的になっている。新規の企業誘致のニュアンスも強い。共生する働き場という、すこしピンと来ないかもしれない。町民に見てもらふ目線で修正されているかも知れなくて、里山との共生と働き場をということは、町外に向けてはあたりまえ。地元の方には「働き場」と記載した方が良くないかというところがある。外に向けてだと、町長のこのままだと難しいという指摘も踏まえると、産業をどうするかもあった方が良くないかもしれない。タイトルは 1 行にまとめるよう要望したが、少し見直してもらいたい。

最初に見開きの前の説明ページについて。何のために 7 つのテーマを作ったか、今回、審議会の委員が直接話を聞きに行き、作成した事を入れてもらった。それをまとめたら 7 つになったという書きぶりだが、これで良いか確認してもらいたい。先ほど指摘のあった「答えをすべてに求めるのではなく、」というのは弱いので、「求めずにチャレンジして」というニュアンスにすることで修正していただければと思う。あと、審議会と地域の方からのひとつも丁寧に拾っているということを記載している。個別でなく、みんなでコメントしているということでも良いと思う。このあたりの印象の話で、地域側としては、多人数ではないが、スタートする人が増えたということがわかる写真は載せたい。それとは別で、外向きに概要版を作るとしたら、今、一番切実なものを載せた方が良くないかもしれない。エネルギーや新規の工場、学校など。町外の人に配ることを意識した構成に出来るのではないか。

委員) 将来目標の方で、出てきているのが、「まち」なので、漢字は都市でも読みはまちでも良いかもしれない。グラビアは、町外と分けた方が良くないかもしれないが、総計として、町民の方は、冊子で読むかもしれないが、町外の方はホームページで見ると思う。サイト上では PDF で見せるとしたら、全て A4 ページになり、見開きに意味がなくなるのではないか。町外の方には紙以外の伝え方もあるように思う。町内向けは今の形で冊子としても、町外向けには、動画などでも良いのではないか。

会長) 動画でなくても、web で外向けに見やすくしたサイトでも良いかもしれない。印刷物は町内向けかと思う。

委員) 私もそのとおりだと思う。WEB 発信などした方が良くないかもしれない。

会 長) 企業誘致には役に立つものなのか。

委 員) この 1 ヶ月で工場誘致の話が来ていて、ひとつ例を挙げると、半導体の製造拠点を作りたいということだが、大阪のホームページから能勢の総合計画にはヒットはしないと思う。大阪のホームページを見て、大阪に問合せがあり、能勢が紹介されるという流れのようである。先程の 06 の項目でも工場誘致をしていることを入れると、企業は探しに来るかもしれない。最近では頻繁に能勢を案内している状況である。

会 長) 大々的に言わなくても、記載しておくことが重要である。

委 員) 能勢の方は、能勢が良くなるために土地を使ってもらいたい思いがある。道の駅を造成するのであれば、土地を売却しても良いという思いがある。能勢の人は大阪のために、とはあまり思わないかもしれない。あくまでも能勢のために、というところがあれば、土地を貸すなどもあり得るかもしれない。今、半導体が枯渇しているので、半導体メーカは増産の需要があるが、工場がないのが現状である。大阪のため、国のためになるが、そういった貢献をしていただければと思う。

会 長) そういう時は、紙ものよりも WEB を見るので、地方創生の流れの中で見えていただくとわかりやすい。総合計画で記載しているということもそういうことだと理解してもらいたい。能勢を褒めろと言われても急に褒め方がわからないので、やっていることがわかれば、ピンときやすいのではないか。エネルギーの話をやっている等。
最初のところで止まっているが、他にどうか。

委 員) パブリックコメントは住民向けなので、外の話をしてあまり通じない可能性がある。あくまでもパブリックコメントは住民向けの内容を決めないといけないと思う。急ぎは 2 月の半ばまでとのことだがいかがか。

会 長) 町内向けはパブリックコメントに向けて検討、町外については別途でも良い。そういうイメージを持つことは大事。総合計画を何のために作っているのかとなるので。

委 員) 今作っているのは、町内向けのイメージかと思うが、1 点、能勢のこれからの 10 年に大切な 7 つのテーマで、「地元の方も含む審議会メンバーが能勢のために一生懸命に取り組んでいる云々」は、結果的に能勢のためかもしれないが、適切な表現なのかは違和感がある。

会 長) 能勢のためになっていると思ったのは、聞きに行った側のキーワードである。関連して思ったのは、写真を載せていると、このひとだけじゃないという思いもあるかもしれない。ぼやっとするのであれば、「地域のため」や「未来に向かって」などの表現に変えることも考えられる。農業や教育関係などと記載せず、未来に向かって取り組んでいるみなさん

など表現を変える。実際に話を聞いた人リストを付ければ確実かもしれないが。だがそこが都市的ではないか。自分のため、自分のやりたいことに熱心になることが都市的である。

他はいかがか。個人的には7つのテーマはどこか重なる点がある。公共交通と能勢高など、どちらも高校生が出てくるが、縦割りではないということがわかるので良いと考えている。読み物としてはどうか。安心できる暮らしを支える公共交通などは、具体的でわかりやすい。これが1番に来て良いのでは。今は、①が能勢高（小中学校、幼稚園、保育園）、②が農業、③が移住、④が健康、⑤がエネルギー、⑥が産業、⑦交通、となっている。順番変えるだけでニュアンスが変わる。地方創生のときに、能勢高の存続が危なかったなので、対大阪府というのもあって能勢高を最初に記載するということがあった。この順番は、あまり精査していない。いかがか。

委員) 箇条書きにすると①が教育委員会、②が農業振興、③企画、④が福祉…と、役所の担当課がイメージできる。番号で箇条書きにすると縦割り感があるが今はそうはなっていない印象がある。逆に重複していないとまずい場合もある。

委員) 文章が町内向けと町外向けが相互に入っている。町内向けということであれば、健康などが最初に来ると、健康未来都市とイメージも持てるのではないか。

会長) 最初に健康、次に能勢高とくると、見た目が変わる。外向けの文章は整理すると良いかもしれない。例えば、エネルギー、産業、能勢高、交通の順番にするとイメージが違う。

委員) 能勢高以前に、子供の人数が少なく、高齢者だけでまちづくりが可能かとなると、読んだ側に響かないのではないか。テーマが挙がっていない。現実的に年間で生まれる子供は20人を切る状況で、その子供が全員能勢高に行っても存続の問題になるのは変わらない。それなりのきちんとした位置づけが必要ではないか。

委員) ①から④が能勢の良いところをアピールしていて、⑤から⑦がこれからの話。未来ということ言うならば、子供が少ないが、良い教育を受けられるという点では、最初が①能勢高で良いのではと考えた。03は移住というよりも人と人との繋がりではないか。「里山未来」というのであれば、これから可能性がある子どもを育てることに良い環境であることを伝えてはどうかと思う。

委員) 健康の次に、生きがいづくりを押し出した方が良いと思っている。読む人は圧倒的に高齢者が多いと思うので、インパクトが重要である。100歳体操がここまで浸透しているところを見ると、健康まちづくりにどう取り組むのかという所がわかってくるのではないか。そうすると、⑦交通にも繋がるのでは。

委員) 高齢者が都市において何ができるかという時代なので出していければと思う。

会長) タイトルはパブリックコメントでも良いので、お知恵をいただきたい。順番は変えること

も良いが、今まで取り組んできたことの先を強めた方が良いと思う。健やかに暮らすという話が出来ているので、前向きな話が良い。能勢高にも繋がる。高校生はすごくエンジョイしているので良いと思う。エネルギーと交通はこれからなので、今後頑張ろうというニュアンスがある。この7つのテーマは未来をどう作るか、という踏み込んだコメントの追記が必要ではないか。ふるさと納税など抜けているが、ふるさと納税が産業に紐付いているように読めれば、外の方にも向けた発信ができる。健康も90歳で元気とすると、その次の目標をどうするかなど。

委員) シルバー人材センターで、60歳以上で就業して給料を貰っているが、そういった取り組みが広まれば、生きがい作りになるのではないか。町内ではなかなか仕事がないということもあるが。

会長) 他の部分はいかがか。

委員) 教育について、小中の表現がなくなるということが言われている中、文章として残っているが、どうか。令和4年から義務教育学校に制度が変わる。

事務局) 今後の動きについては、注釈等を記載し対応したい。

会長) 小中の表現について続けて良いか。問題がないかは確認が必要である。他いかがか。

委員) 02の農業林業は栗の話の記載のみであり、米作りの話がかかれていない。後継者不足などの問題はあるが、共同化や、営農組合など、関係機関と協力して守っていくことが大事である。

表紙の7つのテーマのところ。「ネガティブな予測がある一方で」というところは、ポジティブと比較して分断してしまっている。将来の不安を抱えている町民もいるので、そこはフォローして、新しい取り組みをやっていくことがわかるようにした方が良いのではないか。ネガティブなところはあるが、頑張っていく、ということがわかるようにしたい。「ネガティブな所と共に」という書きぶりにしてはどうか。

会長) 確かにネガティブ・ポジティブとすると分断になる。

委員) 農業のところも写真が栗の写真なので、米の写真も記載ほしい。

会長) 田んぼの写真もあれば掲載し、写真がない所は、みなさんより提供いただきたい。

委員) 「能勢むすび」が売れているので、その写真を載せてはどうか。

会長) 作物が口に入ることも大事である。農村計画をやっているが、田んぼというより、食べたら美味しいとか、生きて暮らしているということが伝わるようにしたい。写真は掲載する

ものがなく、困っている状況もある。もし利用できるものがあれば提供いただきたい。

委員) 本編の3章にIoTの話があるが、今の概要版との整合性について、空気感が違うように見える。3.12の産業誘致等、基本構想と概要版との整合が微妙に違っているようにみえる。広域連携の話なども、コメントとして、概要版に出てきても良いのではないか。そこを含めて整合を確認してはどうか。4章について4.2と4.3は漏れがなければ良いが、適合しているのかは気になる。

会長) 本編が少し置いてきぼりになっている。基本構想は昨年に話をしていて、一旦、素案とした内容なので、もう一度見直しをした方が良い。

委員) 3章の熱量が、トピックスの熱量より追いついてきていないというのと、4章は抜けがなかが気になった。

委員) 全体的な方向性で4章はオンリーワンの取り組みを決めないと、他の自治体とよく似た文言になる。議論をしても元に戻ってしまう。

会長) 「里山未来都市」ということがわかるトピックスがオンリーワンになるのではないかな。

委員) 個人的にはトピックスはすごく良いと感じた。議論を聞いていて思ったのは、タイトルのトーンがそれぞれで違っている。そして10年後、こういう社会になっているということがわかるイメージがあった方が、今、奮闘していることがわかるのではないかな。山林も、このままだと荒廃していくのを、どうにか守っていこうとしている。エネルギーも遠い話になっているが、そこで作ったお金で暮らしを見直そうとしているので、10年後にやろうとしている事がわかった方が良い。

2つ目、サブテーマが人・地域・地球の健康というところは私が提案したが、そういうわかりやすいものもサブテーマであった方が良い。印象に残るキーワードなどが必要である。それと能勢はたくさん課題があるので、それを10年、20年、30年、どう目指しているのか、今の暮らしだけでなく、30年、50年後のことを考えているということがわかれば、人材や、森林、エネルギー、交通の話が出てきても納得できる。

会長) 10年後こういう町になっていると、一般論で記載してもピンとこない。今やっている人が、エネルギー政策というとピンとこないなので、現地からの話として思いが出れば良いのではないかな。10年後のことを書くとしても、一般論ではなく、今使っている言葉で書くことが必要。3章の修正はそこだと思っている。3章は、今は一般用語で記載しているので、「大阪府のため」というとピンと来ないが、「世の中のために」とすれば良いのではないかな。

委員) 今何をすべきかがわかるように書かなくてはならないと思う。特殊出生率はプレッシャーを与える書き方にならないように注意が必要である。ウェルカムなまちであることを訴

えかけてまちづくりをしないと 10 年後はあるのかという話である。今の子供の数を維持できるのか。そのあたり、30 年、50 年というよりも、10 年、20 年で失敗を恐れずにやるという意気込みが打ち出せたらと思う。その中で初めて健康や生きがいづくりが一番響くのではないか。

会 長) 少子高齢化などの問題の中で、基本的には次の時代をどう作ろうとしているのかが提示できればと思う。

委 員) マイナスのメッセージには負の効果しかないというのがあって、マイナスのメッセージで変われるのは、自己肯定感が高い方だけなので、能勢町の危機について、共有はしなくてはならないが、強く出てしまうと逃げようか、というのが一般的な反応である。明るいメッセージの中で打ち出さなくてはならないと考える。今のトピックス構成にしつつ、ネガティブな印象がないように、向かっているところを示しつつ、子供は 19 人しか生まれていないので、もっと取り組んでいかないと、というようなことがわかるようにした方がよい。

加えて「里山未来都市」は、副題がないとだめなのではないか。副題まで記載して、それを実現するための 7 つのテーマにつなげていくべきではないか。あと、グラビアで、テーマが、トピックとなっている。

会 長) トピックというよりテーマのほうが分かりやすい。

会 長) 本日はまとめるというよりも、修正事項を確認する場である。残りの時間もわずかとなったので、今後の予定についても相談したい。

スケジュールを見ると、審議会そのものは 3 月末で、採決は 4 月になるが、現在役所の各部局でも確認いただいております、まだ修正箇所は出てくると思う。委員会となると大変なので、2 月中旬の夕方にも、参加できる方で部会としてざくばらんに作業をする日としたい。そうした部会会議を 2 月に 2 回ほど開催するので、どちらかに参加していただきたいと考える。それを踏まえてパブリックコメントに提出するが、期間中に皆さんより意見をいただくことも可能である。今日と 2 月の修正作業と、パブリックコメント後の修正作業がある。また、部会のやり方に要望があれば聞きたい。前回話に出た、説明会については、私は開催したほうが良いと思っている。パブリックコメント中に私と役場の人だけでも良いので、やろうと思う。今日、話をしなかったが、進捗管理の話もある。10 年の間に見直しも入れておいたほうが良いと思う。そして町外に届くようにウェブ版は、きっちりと作りたい。その旨を進捗管理のところに明確に記載すれば、役場としてもやりやすいのではないか。進捗管理については 7 章に盛り込む必要がある。進捗管理は 10 年前の総合計画の時のことから考えると、本格的に動くものに関しては書き込んで、役場も担当が決まって動けるように施策にしておくべきである。7 章に今後何をするのか、役場の担当等、明確に記載することはできないか。企業誘致の件も何をすればブレイクスルーになるのか、来年の 4 月にでもするべきことがあれば、7 章に記載してはどうか。役場が動いて

いく時のエンジンになるような内容を最後に記載したい。

それでは2月の日程を決めたい。2月12日、19日の土曜日でいかがか。

事務局) 2月12日、19日の午後1時でお願いします。

(4) その他

事務局) 次回は2月に2回集まっていただくことになるが、よろしくお願いします。

・閉会

以上